積水化成品工業株式会社は２０２０年１月１５日（水）～１７日（金）の３日間、東京ビッグサイトで開催された「クルマの軽量化 技術展」（主催：リードエグジビションジャパン㈱）に出展した。この展示会は自動車の軽量化に必要なあらゆる素材・材料、軽量部品が一堂に出展される展示会であり、「オートモーティブワールド２０２０」のひとつとして開催された。

この展示会において積水化成品は、当社の発泡・複合化技術を集結したフロント・リアシートモデルを展示。CFRP 複合発泡成形体「ST-LAYER」と熱可塑性エラストマー「エラスティル」を組み合わせることで、剛性とクッション性（座り心地）を両立させ、軽量化も実現した。また、エンジニアリング・プラスチックビーズ発泡体「ST-Eleveat」や「エラスティル」シートタイプなども展示し、自動車の軽量化につながる自動車部材を多数紹介した。

「ST-LAYER」

発泡体に CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を積層させた複合材料。CFRP 単体や金属では実現できなかった高強度、軽量性、衝撃吸収性など優れた特長を有する。また、形状自由度が高く、さまざまな形状設計や物性に対応可能。

本展示会では、「ST-LAYER」を構造部材として使用したフロントシートを展示・紹介した。

「ST-Eleveat」

耐熱性・難燃性・断熱性・軽量性に優れたエンジニアリング・プラスチック樹脂発泡体。自動車や輸送用機器市場からのニーズが強い、エンジンルーム内などの高温となる部位にも適用でき、複雑な形状成形が可能。

本展示会では、「ST-Eleveat」のエンジンカバーを展示・紹介した。

会場風景

「ST-LAYER」と「エラスティル」を組み合わせたフロントシート